



9月定例会終了(9/29)

日本共産党議員団は43の議案のうち8つ(昨年度決算認定の4つと公共施設の民間への指定管理4つ)に反対をしました。

医療や介護は社会福祉であり、自己責任の単なる保険ではないと考えます。一般会計の他、国保・後期医療保険、介護保険の特別会計決算認定にも反対しました。

議案に反対したのは共産党だけで、私たちの反対討論がなければ議場では全く討論のない「異議なし」議会になります。当局提案承認するだけの議会が皆さんの声を反映できるのでしょうか。

带状疱疹ワクチン接種助成

を求める請願・陳情が採択

助成を求める会、掛川の地域医療をよくする会2団体から出されていた請願、陳情がいずれも採択されました。

陳情に当たったの陳述では、

◎80才になるまでに3人に1人はかかるといわれる带状疱疹がワクチンでかなりの割合で予防できる。しかし生ワクチンで5千円、効果が高い不活化ワクチンは2万円を2回と高額であきらめる方が多いこと

◎带状疱疹にかかった患者の直接医療費が1人あたり6万2千円、全国では260億円/年もかかっている、ワクチン接種は医療費抑制効果もあること

◎50才代から上昇する発症が70代でピークになること

◎助成が県内4市3町、全国で200自治体に広がっていることなどがいてねいに説明されました。

私のまわりでも長く痛みに苦しんでいる方、後遺症が残る方もいらっしやいます。水疱瘡ワクチンができて、子どもたちが水疱瘡にかからなくなったことで今後带状疱疹にかかると増えるともいわれています。

請願・陳情が通ったことを歓迎し、いち早い制度開始を求めます。

54万筆集まったインボイス制度の中止を求める署名 国民の声は聞こうとしない

都合の悪いことには耳を貸さない岸田政権の姿が露わになっています。国会前行動をうるさいと切り捨て、人権無視の発言を繰り返している議員を平気で要職につける。そんな自民党に国民に寄り添う政治はできないと思います。

新聞折込された創世会の政務活動の報告チラシ。ロゴマークは自民党のマーク。
全員が自民党員の会派なのだから当然？でも選挙では皆さん無所属でしたよね。

「日本政府に核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求める意見書」提出

共産党議員団として議会に提案をしました。文言を巡っては趣旨が変わってしまいかねない修正が出されたりしましたが、「議会として意見書を出すべきだ」という合意のもと、「非核平和都市宣言を行なっている自治体として、政府が、核兵器禁止条約締約国会議にオブザーバー参加することを要望する」旨の意見書が国に提出されました。

締約国会議は11月27日からニューヨークで開かれます。署名93ヶ国・批准63ヶ国まで広がった核兵器禁止条約。被爆国日本の責務を果たしてほしいです。

地区集会参加の中で

上内田地区では駅南地区への小中一貫校を求める意見が出て、市長も検討に向きの発言がありました。

小中学校再編が迫る土方地区では統廃合される小学校跡地を柔軟に活用できないのかという意見が出ていました。

曾我地区では今現在も河川の災害普及に手間取り大変な中、高御所の開発の影響を心配する声も

どれも地区内だけの問題ではなく、全市的な政策に関わることで、しっかり聞き取り声を政策に反映させていきたいです。



野の花ブーケ